

Sustainable Report No.156

「ワイン県」山梨の ワイン造りにおける環境対策



Satisfactory

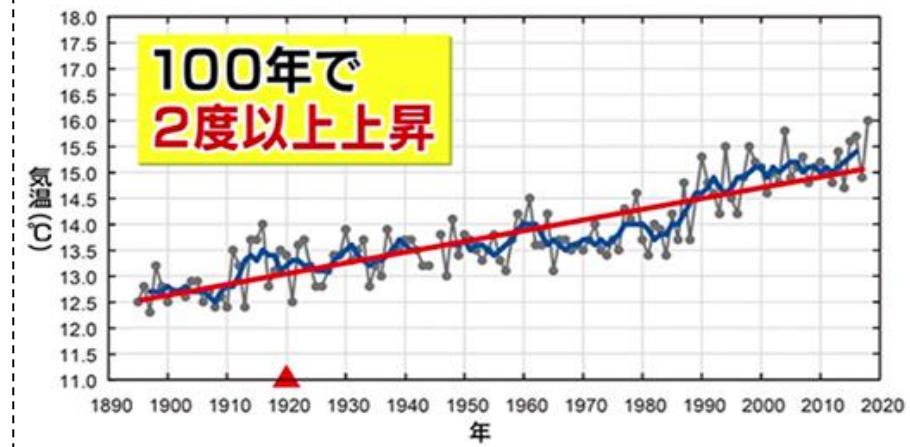
■ ワインの搾りかす「ワインパミス」の大量廃棄がもたらす地球温暖化への影響

- ワインパミスは、山梨県内だけでも**年間1万トン以上が廃棄**されている。大量廃棄（焼却）することで二酸化炭素の排出量は増加し、異常気象や地球温暖化の問題に直結している。
- これらを**畑に放置すると生産環境が悪化**してしまう。大量のコバエや悪臭を発生させたり、アルコールを含むため土壤不良を招くなどといった問題が挙げられる。そのため、廃棄せざるを得ない。
- この100年で甲府市の年間の**平均気温は2度以上高くな**っており、ブドウの着色不良や酸味の減失など品質に影響を与えていている。

■ ワインパミス参考画像



■ 甲府市の年平均気温の推移



出典：株式会社中村商事 「Makuake」投稿ページ掲載

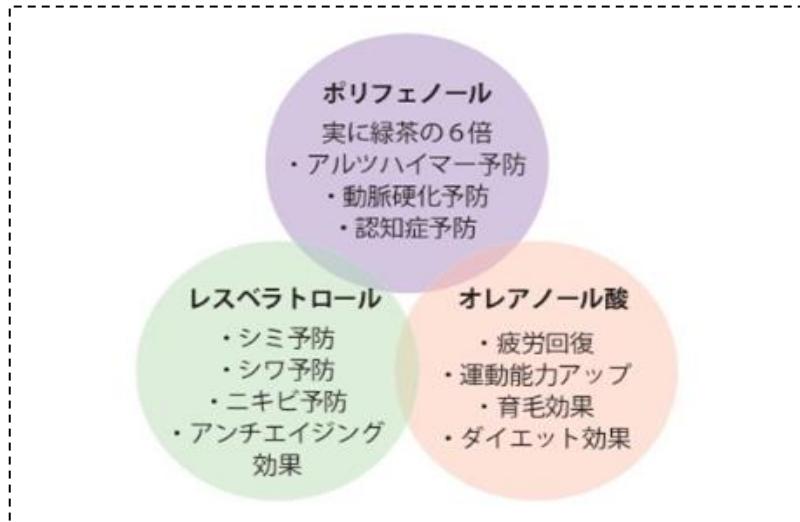
出典：東京管区気象台HP 気象変化レポート2018-関東甲信・北陸・東海地方-

ワインパミスの廃棄量を削減するための取り組みとは

■ ワインパミスは果実以上の可能性を秘めている？！

- 山梨県にある株式会社中村商事では、ワインパミスを大切な資源と考え、ワインには移行しない**ワインパミスならではの豊富な栄養成分**を活かした「RE-WINEブランド」の製品開発を展開している。
- 一般的に加熱後の酵母臭や粗い舌触りが難点とされるものの、**美容や健康志向にフォーカスした商品PR**で上質なペースト、パウダー、ジャム、ドリンクを販売している。
- **競争が激しい分野での製品開発**に偏っているのが現状。その中で安定供給させることは難しいのではないか。

■ ワインパミスの栄養成分



出典：株式会社中村商事 RE-WINE HP掲載

■ 株式会社中村商事が開発・販売した商品



出典：株式会社中村商事 RE-WINE オンラインストア掲載

より良い製品開発はあるのか

■ ワイン農家と相互扶助の関係を築く

- **ワインの購買に繋がる商品開発**をすることで、生産者も循環を直に感じることができ、発信が積極的になることが予想される。
- ラベルやボトルなどといった商品の原料に使用し、**農家へ還元**することが理想。
- 料理や食品以外の製品にも加工しやすくなるよう開発を進めて、**循環化の可能性を広げる**ことが望まれる。

■ 麻製のワインボトル（製造時のCO2排出削減に貢献）



出典：2019年3月18日 NewSphere掲載

■ 廃棄野菜、果物から製造した建設資材



出典：2021年6月16日 電気新聞掲載

山梨のワイン農家で取り組まれるSDGs活動は既に複数ある

■ 4パーミルイニシアチブの取り組み

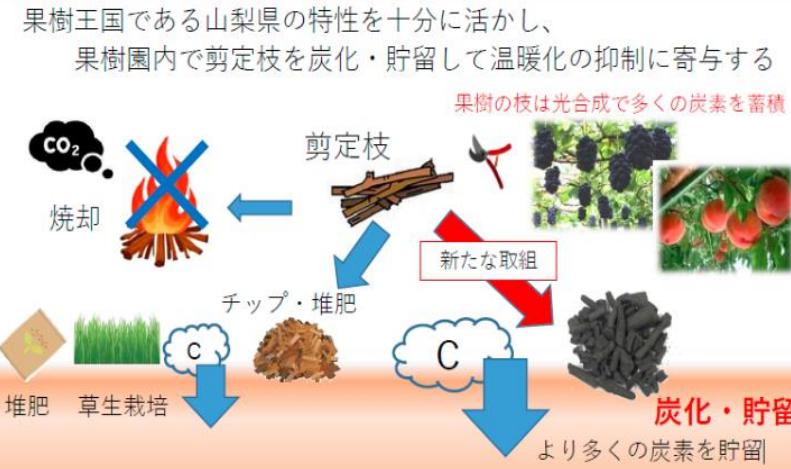
- ワイン作りに欠かせない枝を切る作業で大量発生する「剪定枝」は、今まで主に**焼却**されてきていた。
- 「無煙炭化器」を用いて剪定枝を炭素化する事ができる。CO₂を炭に閉じ込め、炭素自体を地中に閉じ込め、焼却による**CO₂の大気放出を抑える**だけでなく、土壤の炭素増加で、更なる地球温暖化防止に繋げている。
- こういった取り組みを「4パーミルイニシアチブ」と呼び、2015年に**フランス政府が提唱**した。日本国内では、2020年4月に果樹王国である山梨県が初めて参加している。

■ 無煙炭化器で炭になった剪定枝



出典：2021年8月11日 産経新聞掲載

■ 炭化の仕組み



出典：2021年9月14日 SDGs MAGAZINE掲載

■ 参照・引用資料

- NHK首都圏ナビ、「山梨“暑さに強いワインへ” 温暖化でぶどうの新たな栽培方法」, 2021年9月14日 (<https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210914.html>)
- Makuake／株式会社中村商事, 「ワイン名産地山梨のワインパミスエキスを贅沢に使ったサスティナブルなフェイスマスク」, 2021年10月7日 (<https://www.makuake.com/project/re-wine/>)
- 東京ウォーカー／Walkerplus, 「再利用で廃棄物をゼロへ」ワイン県やまなしが取り組むSDGsな活動4選」, 2021年10月14日 (<https://www.walkerplus.com/article/1052310/amp/>)
- 株式会社中村商事／@Press, 「ワイン県やまなし発、ワインパミスを使用した新しいドリンク「乳酸菌発酵ワインパミス飲料」を販売開始！」, 2020年12月29日 (<https://www.atpress.ne.jp/news/241346>)
- 産経新聞, 「農業の脱炭素化、4パーセントで山梨先行」, 2021年8月11日 (<https://www.sankei.com/article/20210811-YLD3TM5AYFNU7HJJ2HXXKKKW3A/2/>)
- SDGs MAGAGINE／株式会社サニーサイドアップ, 「ワインの“絞りかす”がシャンプーに？日本ワイン発祥の地「ワイン県やまなし」の廃棄物削減への取り組みとは」, 2021年9月24日 (<https://sdgsmagazine.jp/2021/09/24/3279/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先 : info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『KIZUNA ESD』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは？ —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、
サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中